



今年度の目標を振り返ってみます - 「筑波大学研究」今年度最終号 -

いよいよ学年末最終日、「筑波大学研究」も今年度最終号となります。今年度、筑波大学研究委員会は5つの目標を掲げて活動してきました。それぞれについて振り返ってみたいと思います。さらに、前期試験で合格した先輩の合格体験記を掲載します。一般受験で見事合格を勝ちとった先輩の言葉を読んで、決意を新たに春休みの課外、自宅学習に励んでください。この1年、ご愛読ありがとうございました。(小野)

① 筑波大学現役合格20名以上の回復

今年度は、推薦で6名、前期試験で12名、後期試験で1名、計19名の合格者が出ました。目標の20名には届きませんでした。昨年度、一昨年度を上回る合格者数です。68回生は健闘してくれました。

竜ヶ崎一高には長年蓄積された「メソッド」があります。これを基に3学年の先生方を中心に昨年度の受験結果を分析し、適切な時期に面談を行いながら、適宜、筑波大の入試動向などの詳細な情報をみなさんに提供して、筑波大を志望するモチベーションが持続できるような指導が行われています。そして、センター試験以降の特編Ⅲ期では受験教科(科目)の指導を徹底して入試を迎えることになります。

また、筑波大を志望する生徒の最終確認の場として、3学年の筑波大受験希望者に対し、筑波大入試対策講座を12月5日(土)に30名の生徒で実施しました。この時期に講座を開くのは今年度で2度目になります。なお、2月27日(土)、3月12(土)にそれぞれ実施された1、2学年の「難関大入試対策講座」も筑波大学研究委員会が関わりました。

② 『筑波大学入試問題研究』の発行と「筑波大入試問題研究会」の実施

冊子発行の狙いは、『赤本』よりも早くみなさんに筑波大入試問題の解答・解説を提供できる環境をつくることです。今年も夏休み前の授業最終日である7月22日(水)に発行し、8月22日(土)に実施した「筑波大入試問題研究会」に冊子を活用しました。なお、この研究会には他校の筑波大希望者と先生方が参加しています。1年生のみなさんの参加も可能です。今から参加を検討してみてください。よい刺激になるはずです。

ただし、「研究会」では、講義時間の関係で入試問題の一部しか取り上げることができません。講義後の自主的な活用が求められます。進路指導室には過去7年分の『筑波大学入試問題研究』がストックされています。冊子を手にとって問題を解きはじめてみてはいかがでしょうか。

③ 「筑波大学研究」の定期的発行

各月のLHRもしくは総合の時間で配布してもらえるよう金曜日の発行を心がけました。今

年度は通巻第47号から今回発行する第56号まで10号を発行しました。2年生は、進級後、7月までに発行される「筑波大学研究」の内容に注目してください。センター試験、前期試験の配点等の情報を確認することができます。また、進研模試を基にした前年度の筑波大合格者の平均偏差値一覧表を毎年掲載しています。自分の成績と見比べるなどして目標とする数値のめやすとして活用してください。

④ 筑波大との高大連携事業の促進

1学年では10月に実施した「学校見学会」、2学年では9月に実施された「大学研究会」の実施に関わりました。「学校見学会」では本校卒業生が筑波大学構内を案内してくれました。

⑤ 本校卒業筑波大学生との連携

計70名近い先輩方が筑波大学に通っています。昨年度から、先輩方と本校との間のネットワーク化を本格的に進めています。今年度は、おもに模擬試験のサポートをお願いしました。学年によっては受験相談会も実施されたはずですが、今年度先輩方にアプローチできなかったみなさんは、次年度積極的に質問し様々な情報を入手してください。

合格体験記《一般入試編》

失敗から掴んだ合格

人文・文化学群 比較文化学類 《女子生徒》

以前から何度も読んで励みにしてきた合格体験記に、自分の文章を載せることができ本当に嬉しく思います。自分の体験がみなさんの受験に対する不安の解消につながれば幸いです。

〈進路決定〉

1年生の頃から何となく筑波大学を希望していましたが、正式に決定したのは3年生の春でした。英語力をつけたかったため、比較文化学類を受験することにしました。

〈1,2学年の勉強〉

運動部だったため、初めの頃は疲れて全く勉強できませんでした。授業中に眠くて眠くて…。恐らくテスト前と課題以外はまともに勉強していなかったかと思います。(その分この2つは必死でやりました) いけないと思い、2年生になってからは朝4時起床、夜10時に就寝の生活リズムに切り替えて朝勉強するようにしました。また、この頃から分からない箇所を積極的に質問しに行くようになりました。その甲斐あってか成績が少しずつ上がるようになり、モチベーションも上がっていきました。

〈3学年の勉強〉

○ 部活動引退

いきなり勉強時間を増やすのは難しいと思い、少しずつ増やすようにしていました。この時期は、苦手だった数学を重点的に取り組みました。

【裏面に続く】

○ 夏休み

飛龍館や教室で勉強しました。課外をいくつか取って、苦手をなくすことに努めました。また、夏休み中は、「自分の勉強のサイクル」を作ることをオススメします。私の場合は、最初に国語、次に数学・・・といった具合に文系科目と理系科目を交互にやっていました。サイクルができると飽きずに効率よく勉強できるようになりますよ。

○ 秋～センター試験まで

夏休みが明けた後、記述試験対策を開始しました。この時期に記述試験の問題に慣れておくと、12月の特編授業でセンター試験の勉強が中心になっても安心できます。センター試験の勉強は、特編授業を大事にしましょう。間違えた問題はその日のうちに復習して、着実に知識を身につけていく。これが本当に大事です。

○ 2次試験まで

この期間が今までで一番辛かったです。何をやっても不安になったけれど、学校で特編の授業を受け続けてきました。午前は特編の授業、午後は赤本を解き、放課後は添削をお願いすることが多かったです。とくに世界史の論述は本当にピンチだったので、たくさん問題を解き、教科書やチェックリストの確認を並行してやりました。

〈 失敗談 〉

ここまでの文を読むと「何かこの人順調に受験をのりきってんじゃん」という感じになりますが、実はそうではありません。3年生の中頃からとてつもなく中だるみしてしまい、パタリと勉強しなくなった時期がありました。休日なのに1分も勉強しなくなったり、放課後も教室には居るものの、ボーッとしてみたり・・・当然学力は落ちたし、自信もなくなりました。こんな状態になった私がなぜ合格できたのかというと、月並みですが「周りの人のサポート」のおかげだと思います。熱心に教えてくれた先生方、励ましてくれる友達の存在があったからこそ、私は立ち直ることができました。

〈 後輩へのメッセージ 〉

受験はたくさん辛いことがあります、大変です。でも、周りにはたくさんの味方がいます。絶対に大丈夫です。それに、受験から学べることだってあります。私もたくさんのことを学びました。みなさんも受験を通して良い体験ができるように、心から願っています。

合格体験記

情報学群 情報科学類 《男子生徒》

志望理由と時期

私が進路を意識し始めたのは3年になってからです。私は実際、センター試験でうまくいかず、ほかの国立大学との受験で悩んだ結果、今の学部を選びました。

第1・2学年

部活をやっていて、進路についてあまり意識していなかったので、1,2年次はあまり自主学

習をせず、最低限の学校から与えられる課題と定期考査や模試前のテスト勉強しかしていませんでした。

第3学年のころ

部活も引退して、本格的に進路を意識し始めます。私は最後の最後まで志望校が決まっていなかったで、ただ勉強をしているだけでした。勉強のモチベーションを維持するという点では、早めの進路決定が有効だと思います。

夏休みは家で集中することができない人だったので、飛龍館をフルに利用して毎日9～11時間勉強しました。夏休みは自分で勉強のプランも考えなくてならないので、教科毎に時間の偏りが起こらないようにしました。また長期休みは自分の苦手分野を徹底的に克服しました。

センター試験前まで

12月ごろからは特編が始まり、センター演習がメインになります。ここで徹底して基礎漏れがないかを教科書や問題集を見返しました。特に化学は、有機・無機分野の早めの完成、英語や数学は問題を解くスピードを意識しながらやっていました。

個別試験対策

赤本に取り組み始めたのは、センター試験が終わってからです。とりあえずは目先の私立大対策をして、私立大の受験が終わり次第、筑波大学の赤本をやりだしました。私立試験やその発表が終わってからが一番気の緩むころだと思うので、そこでもう一度気を引き締めなおして二次対策をやってください。

二次対策は主に苦手な数学に力を入れました。センター試験では数Ⅲを使わないので、まったく触れていませんでした。そのため、私立大の試験が終わってから二次試験までの短期間でチャートを例題からやり直すことになり、とても苦労しました。センター試験の科目だけにこだわらず、二次試験で自分が何の教科が必要なのかを考え、最低限のことはやっておいたほうがいいと思います。

最後に

私は「受験は団体戦だ！」と先生方から言われてきましたが、「何言ってんだ。受験は個人戦に決まっているだろ」と思っていました。しかし夏休み、二次試験前などに学校に来て同じ境遇の仲間とともに勉強して、昼休みには雑談など息抜きをし、互いに励ましあってきたからこそ、めげずに受験を乗り越えることができたと思います。皆さんもこれからが大変だと思いますが、自分を信じて、時には先生方や友人を頼って、最後まであきらめずにがんばってください。